

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2014 助成の概要と推薦理由

助成番号 14-1-2

プロジェクト名 医療的ケアの必要な子どもたち～可能性は無限大！
ともに楽しもう学校も地域生活も！！

団体名 バクバクの会

代表者名 大塚 孝司

所在地 大阪府

助成額 200万円

助成期間 2015年9月1日～2016年8月31日

設立年 1989年

URL <http://www.bakubaku.org/>



この団体は人工呼吸器、もしくは同程度のケアを必要としている子どもたちが入院生活や在宅生活を豊かに過ごすことができるよう、相談・支援業務や情報提供、また全国ネットワーク組織としての強みを活かしながら社会的理解を促進するための啓発活動に取り組んでいる。

在宅医療の充実から、従来は入院していた医療的ケアの必要な子どもたちも早くに退院し、在宅で過ごすケースが増えてきている。しかし退院しても医療装置(人工呼吸器など)をつけていることで、周囲から特別視されるため地域社会に馴染めず、孤立している親子も多い。そのため親の負担は入院しているときよりも増し、片時も子どもから離れることができない現状がある。

今回の助成では、この現状を地域社会の課題として受け止め、地域啓発の広報ツールとなるDVDを作成する。このDVDでは人工呼吸器をつけた子どもたちが親の付き添いなしに保育園や学校に通い、また将来的には地域で自立した生活を送っている事例等を紹介する。さらにダイジェスト版を団体HPでも掲載し、広報強化に努める。またDVDの完成上映会を開催し、保育や学校関係者、医療、福祉等の関係機関にも広く声をかけることで、支援と理解者の輪のひろがりを目指す。

本助成を通じて、DVDを支援者の理解を得るための有効なツールとして活用する一方で、当事者である子どもや親たちもDVDを通して将来に目標を持ち、前向きな一歩を踏み出すきっかけになることを期待したい。またDVDの企画・作成を進める中で、団体のミッションを再確認しながら、団体として次のステージに進むことを期待して助成する。